



新春特別対談

ベストセラー作家
岡崎 琢磨さん
シンガーソングライター
セイカさん

楠田大蔵市長 ×

「令和発祥の都」となった今こそ、歌の力で故郷・太宰府を盛り上げたいと、昨年、故郷・太宰府にちなんだ楽曲を共同制作した岡崎琢磨さんとNeontetra・セイカさん。今回は楠田大蔵市長も交え、ふるさとに対する思いなどを伺いました。

〈太宰府の地での思い出〉

—— 昨年は新元号「令和」に沸いた太宰府市でしたが、皆さんの太宰府での思い出を教えてください。

岡崎 実家がお寺で、大宰府政庁跡の近くにありますが、政庁まつりが、以前は政庁跡で行われていたので、そこで過ごした思い出が記憶に残っています。

セイカ 学生のころ、五条のいきいき情報センターでずっと受験勉強をしていま

〈作品づくりとふるさと・太宰府〉

—— そうした太宰府での思い出は、作品づくりに生かされていますか？

セイカ 太宰府のすてきな自然と人のあたたかさなどが尊いものだと、東京に出てから感じました。Neontetraの楽曲に「いなかみち」という曲がありますが、まさに景色や人のあたたかさなどを歌った曲になっています。

—— 岡崎さんの『道然寺さんの双子探偵』シリーズは太宰府市が舞台ですが、この作品に込める思いなどを聞かせてください。

岡崎 寺で生活してきた経験を生かしたいと思い、せっかくなら太宰府市や福岡県を舞台に書きたいと思いました。

—— お二人の作品をとおして、太宰府の魅力が全国に発

「もっと素晴らしい故郷をPRしたい！」

信されていますが、市長はどのように感じますか。

市長 ありがたいことです。ね。大伴旅人の1300年前からの誇りうる歴史がありますが古すぎて、実感がわきにくいところがありました。しかし、今回令和のご縁をいただき、お二人に曲を作っていただきました。若い人にも本市の歴史に関心を持ってもらったことは大変ありがたいことですし、チャンスにしていかなきゃと思いますね。

〈最後に〉

岡崎 昨年、太宰府最大級のイベント「太宰府市民政庁まつり」で楽曲を披露する機会をいただきました。しかし、「もっともっと太宰府という素晴らしい故郷をPRしたい！日本中、世界中に発信したい！」と思っています。

セイカ そのために、楽曲の英語版と、市内の観光名所で構成されたプロモーションビデオを撮影することにしました。私たちの楽曲が太宰府のことを知っていただくきっかけになるとうれしいです。

市長 こうして、若い人が直接提案してくれたこと自体が、まちの盛り上がりが出てきたんじゃないかと思っています。これからも、市に戻ってきていただいてもありがたいですし、外に出て行った人も、郷土を思っていただけたらうれしいですね。

「自然、人のあたたかさがすてき」



▲昨年の太宰府市民政庁まつりにて